



学びのアップデート
Learning Updates

- タイピング能力を向上させるためのデジタル教材
- 活用型情報モラル教材「GIGAワークブックとうきょう」を活用しましょう！
- 生成A I を使ってみました
- 確認してみませんか？ 著作権のこと
- 個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を考える。「デジタルを活用したこれからの学び」

■ もっともっと一人1台端末を活用していきたいと考える先生方の思い



タイピングが速くなると、
考えたり話し合ったりする場面で
端末を活用できるようになるのになあ。

いいタイピング教材は
ないかな・・・



次のページで、**今すぐ使える教材**を紹介します。（登録もダウンロードも不要です）



タイピング能力を向上させるためのデジタル教材

■ ブラウザ上で、短時間で学習できるデジタル教材を活用してみませんか。

東京都制作デジタル教材「タイピングをマスターしよう！」

いつでも
どこでも

教室でも

自宅でも

自分の
ペースで



「イージーモード」



「ノーマルモード」

ノーマルモード 結果発表	
あなたの入力したもじすう	99もじ
せいかくさ	正しいタイピングです
たいへんよくできました	
きょうのベスト3	1. 99もじ 2. 0もじ 3. 0もじ

ランク	入力した文字数
エキスパート	100もじ
上級	90もじ
中級	80もじ
初級	20もじ

結果がすぐに
分かる！

タイピングが速くなると、学習内容に向き合う時間がしっかり確保できます！

https://infoedu.metro.tokyo.lg.jp/tokyo_model/contents14/

👉 ここをクリックするとすぐ確認できます。ぜひ活用してみましょう！

公開しているデジタル教材は、
3種類の教材で学ぶことができます！
詳しくは、こちらで御確認下さい！



情報教育ポータル「**とうきょうの情報教育**」に
アクセスして、**教材をチェック**しましょう！

<https://infoedu.metro.tokyo.lg.jp/digitalmaterials.html>



「GIGAワークブックとうきょう」を活用！～親子GIGAワーク教室の様子から～

親子GIGAワーク教室とは？



- ・講師を都内公立小学校の希望校に派遣
- ・児童及び保護者の情報モラルやリテラシーの向上を図る
- ・一人1台学習者用端末の適切な活用法を啓発

- 「GIGAワークブックとうきょう」の**15分で学べる教材**から3つ程度を学校が選択して実施（1講座45分）
- 一人1台学習者用**端末を活用**
- 講義だけでなく、**話し合いや発表**を取り入れ、主体的な参加を促す



「GIGAワークブックとうきょう」の活用例

- 教科等の授業の中で、本教材を10分から15分間で学習
- 朝学習で使用

「GIGAワークブックとうきょう」を活用した主体的・対話的な学習活動

あなたがほめられていると感じる順にカードを並べてください。

同じ言葉でも、伝え方によって感じ方がちがうね。

端末上でカード教材を操作しながら、考え、話し合う。



「GIGAワークブックとうきょう」を活用し、**学級・学校で情報モラル教育を実施**することができます。

0分

1 単位時間

15分間

「GIGAワークブックとうきょう」を活用して、各学校で計画的に情報モラル教育を進めていきましょう。



「昆虫ではない虫」について、3種類の生成AIに質問してみました。



ChatGPT

～中略～

3. **イカ**：イカは軟体動物であり、昆虫ではありません。イカは触手や吸盤を持ち、水中で生活しています。

～中略～

これらは、**アリ以外の昆虫の例**ですが、自然界には様々な種類の生物が存在します。

イカなど、今回の質問に対し、正対していない回答がありました。



Bing チャット

昆虫とは、体が頭部・胸部・腹部の3つに分かれていて、胸部から足が6本（3対）生えていて、羽が4枚（2対）ある動物のことです。

～中略～

虫と昆虫の違いとは【小学生の息子に教える】ミミズや蛇は虫なの？ | むしらぶろぐ
<https://musirabrog.com/difference-musi/>

AIが参考にしたURLが紹介されていました。Bingは検索機能に重点を置いているとのこと。



Bard

- ・クモ ・サソリ ・ダニ ・ミミズ
- ・ナメクジ ・カタツムリ ・ムカデ

～中略～

これらの生き物は、昆虫とは異なる特徴を持っています。例えばクモは、6本の足と**8本の目**を持っています。～以下省略～

8個の目の誤りでしょう。なお、実際には目が8個以外のクモもいます。

今回の質問の場合、各生成AIから参考になる回答は出てきましたが、仕組み上、**堂々と間違えることもある**ので注意が必要です。回答内容には児童・生徒が疑問にもちそうなことへの説明もあったので、適切に活用すれば教材研究に使えるそうですね。



授業など、学校教育の中で生成AIを使う際は、文科省が公表したこちらのガイドラインを踏まえる必要があります。必ず各教育委員会からの通知に従ってください。
※文部科学省「初等中等教育段階における生成AIの利用に関する暫定的なガイドライン」
https://www.mext.go.jp/content/20230704-mxt_shuukyo02-000003278_003.pdf



■ 教育活動における著作権について解説している「運用指針」

教育活動における著作権について示した「著作権法35条」。法の条文とともにチェックいただきたいのは「改正著作権法35条運用指針」です。

改正著作権法第35条運用指針（令和3(2021)年度版）より抜粋

<事例> 予習（事前学習）の資料として、教科書の著作物や
絵画、写真等をクラウド・サーバにアップロードする。

改正著作権法第35条運用指針（令和3(2021)年度版）【追補版】より抜粋

<事例> 運動会のダンス競技を中心にして、
保護者に対してオンデマンド型での配信
・ 期間を限定（例：運動会開催日から7日間）
・ 視聴する保護者には、ダウンロード・URLの
拡散等をしないように同意を求める。



このように、様々な
事例が載っています。

<https://sartras.or.jp/unyoshishin/>

授業目的公衆送信補償金とは

授業目的公衆送信補償金は、学校の設置者（各教育委員会）が支払っている著作権者に対する補償金です。この補償金を支払っているため、学校は、教育活動で著作物のオンライン利用が可能となっています。

35条の内容を理解した上で、著作物を積極的に利用しましょう。

■ 困ったときは・・・

以下のサイトのQ & Aはお勧めです。

- 学校教育と著作権（CRIC（公益社団法人 著作権情報センター））
<https://www.cric.or.jp/qa/cs01/index.html>
- 補償金制度利用に関するFAQ
（SARTRAS（一般社団法人 授業目的公衆送信補償金等管理協会））
<https://sartras.or.jp/faqs/>



不安になることはありません。
正しく理解できれば安心です。

今年もあります！ 講習会

文化庁が「著作権講習会」を実施します。

日時：令和5年8月18日（金）14時から16時まで（オンライン）

※ 後日、オンデマンド配信もあり。

対象：教職員・ICT支援員（デジタルサポーター）

申込：8月16日（水）まで

参加してみたいかがでしょうか。

<https://www.bunka.go.jp/seisaku/chosakuken/seidokaisetsu/seminar/2023/>



授業づくりを工夫している群馬県のM小学校に行ってきました！②

(前回16号の続き)

子供主体の授業づくりに向けたポイントは、次の三つです。

- ① **学習の流れを子供が理解**していること
- ② **学習形態を自由に選択**できるようにしていること
- ③ **学習状況をリアルタイムで共有**していること

また、**自分で情報を整理・分析するための言葉**や、**対話するための言葉**を一覧にまとめ、「理科のコトバ」として示していました。

子供たちが自分で学習を進めるスタイルに授業を変えたところ、

「自分のペースで勉強できるから楽しい」

「先生が、私たちが信頼してくれているのを感じる」

といった声が、子供たちから挙げられているとのことでした。

子供たちに学びを任せる授業への転換はとても勇気がいることでしたが、いざ取り組んでみると、一人ひとりの子供が積極的に学ぶようになり、大きな手応えを感じられた様子でした。

「理科のコトバ」(一部抜粋)

	使う言葉	反応の仕方
予想	◆今までの実験/体験から、○○になると予想します。なぜなら△△だからです。...	◆ニコニコ聞く ◆うなづく ◆拍手する ◆ハンドサインを出す
計画	◆そろえる条件は○○で、変える条件は△△です。	◆同じです ◆なるほど
実験	◆○○という予想が当たっていれば、△△になるはずですが。 ◆外れていたら、○○になるはずですが。	◆へー ◆いいと思います ◆質問があります ◆○○をもっと詳しく教えてください。
結果	◆まず○○、次に○○、そして、○○、最後に○○になります。	◆なぜそう考えましたか？ ◆どこからそう考えましたか？ ◆○○になったことをどう考えますか？
考察	◆このことから、○○が分かりました。 ◆他のグループと比べて、○○でした。	
結論	◆つまり、○○ということだと思っています。	

(次号、他の先進校について紹介します。)



学習指導要領に示されている資質・能力を育むには、指導方法、学習方法、学習環境等を更新し、最新のものにする必要があります。

また、Society5.0に向けて、ICT機器及び環境というハード面と、それらをどう利用していくか、授業そのものをどのように構成するかというソフト面の両方のアップデートが求められています。

そこで、これからの「学び」を最新のものに「アップデート」していただくことを願い、本通信のタイトルを『学びのアップデート』としました。東京都教育委員会のホームページにも後日掲載する予定です。

学びのアップデート

Society5.0に向けた一人1台端末の活用のための実践事例通信
第17号 令和5年7月21日発行 東京都教育庁総務部教育政策課